

職員による自己評価

A 環境面

- ・スペースが適切かわからない。
- ・職員の男女比率が合っていない。
- ・外部評価に対して改善出来ているか不明。
- ・研修の機会があまりない。

B 児童への支援内容

- ・支援計画書に沿って支援が出来ており、分析が行えている。
- ・活動に対して常に工夫している。
- ・アセスメントツールが適切に活用されているかわからない。
- ・ガイドラインに複数組み合わせが出来ているかわからない。
- ・児童クラブとの交流が出来ていない。

C 関係機関との連携

- ・サービス担当者会議に参加出来ている。
- ・家族と日々の共有が出来ている。
- ・卒後に向けての話が出来ている。
- ・外部との連携がどこまで出来ているかわからない。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者への説明は出来ている。
- ・保護者同士の連携に対してどこまで支援出来ているかわからない。

E 非常対応

- ・緊急時のマニュアル周知がどこまで出来ているかわからない。

保護者による評価

A 環境面

- ・特に問題はない
- ・人員配置として適切かが分からない

B 児童への支援内容

- ・児童クラブ等との交流はない。
- ・児童クラブ等との交流は年に1度なら良いかと思うが、そこまですると本人が疲れてしまう。

C 事業所からの情報発信

- ・保護者会の実施が出来ているかわからない。
- ・苦情に対して迅速かつ丁寧かわからない。

D 非常対応

- ・緊急時のマニュアルや災害時の備蓄がどのようになっているかわからない。

その他

- ・子どもたちは楽しく通えている。
- ・支援に対して不満はない。

事業所内での分析

【共通点】

- ・児童クラブ等との交流が出来ていない。難しいのではないかな。
- ・緊急時マニュアルが明確になっていない。

【相違点】

- ・特になし

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・家族や学校との情報共有等が出来ている。
- ・活動内容について家族より良い評価を頂いている。

事業所の改善点

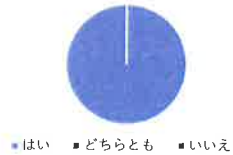
- ・地域への参加について再検討をしていく。
- ・マニュアルの検討。

事業所の改善への取り組み

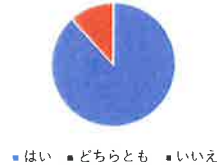
- ・活動を通して地域との交流や参加を増やす機会を作っていく。
- ・マニュアルの見直しを含めて検討していく。

2019年度 放ディよこはまりパーサイド泉川ひまわり 評価結果

①子どもの活動等スペースが十分に確保されているか。



②職員の配置数や専門性は適切であるか。



③事業所設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか



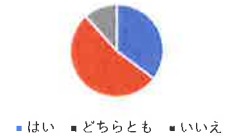
④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等ディサービス計画が作成されているか



⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか



⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか



⑦支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか



⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか



⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか



⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか



⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を設備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか



⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか



⑬定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか



⑭個人情報に十分注意しているか



⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか



⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか



⑰子どもは通所を楽しみにしているか



⑱事業所の支援に満足しているか



